鳥類　＜カモ目　カモ科＞　　愛知県：準絶滅危惧（越冬）　（国：リスト外）
AVES　＜ANSERIFORMES　ANATIDAE＞　　AICHI：NT（Win）　（JAPAN：－）

クロガモ　*Melanitta americana* (Swainson)

【選定理由】

2013 年の冬まで、船で渥美半島の遠州灘沖へ出た外海沖で 200 羽から 350 羽程度の確認例があるが、三河湾内では多くても 10 羽程度と推測された。1970 年代には田原市（旧田原町）の三河湾側だけで 1,000 羽を超える越冬群が見られ、1973 年 7 月に白谷海岸で 199 羽の越夏群の記録もある。また、冬期には太平洋沿岸や、伊勢湾沿岸の知多半島の内海から師崎にかけての海上でも普通に見られた。最近ではほぼ毎年、渥美半島周辺の太平洋あるいは三河湾で 80 羽程度の群れが確認され、他の場所でも少数羽が確認されていることから、県内全体で 100 羽程度が越冬しているものと推測されるが、県内周辺での越冬数は 1970 年代の 1/10 以下に減少しているものと推測される。

【形　態】

全長 44～54cm、翼開長 79～90cm。雄は、全身が黒色で、上嘴の基部に黄色のこぶ状の突起がある。雌は、全身が暗褐色で頬と喉が淡灰色で、嘴は黒色。

愛知県渥美半島, 1990 年 2 月 12 日, 杉山時雄 撮影

【分布の概要】

【県内の分布】
冬期に太平洋沿岸や三河湾に生息するが、近年三河湾内の生息数は僅かである。

【国内の分布】
北海道では繁殖が確認されており、冬期は全国の海域に生息する。

【世界の分布】
ユーラシア大陸北部、アラスカ西部、ハドソン湾の一部、ニューファンドランド島、アイスランドで繁殖し、ヨーロッパ沿岸、アフリカ北西部沿岸、カムチャッカから中国にかけての沿岸、北アメリカ西海岸および東海岸で越冬する。

【生息地の環境／生態的特性】

冬期に遠州灘や三河湾の沖合に生息し、汐川干潟や豊川河口、矢作川河口など、三河湾深部でも観察記録がある。潜水採餌をし、貝類や甲殻類を捕食するとされ、1973 年に田原市の旧田原町沿岸で越夏個体を捕獲し調査したところ、ムラサキイガイを数多く摂食していた（武田芳男, 私信）。また、ここの越夏個体群は、岸に上がって休息していることが多かった。

【現在の生息状況／減少の要因】

近年冬期は主に遠州灘沖で生息し、希に群れで三河湾に飛来することもあるが、群れが湾内に留まることはないようである。その他にも、1 羽から数羽が湾内沿岸部の各所で見られることがある。現在陸地から確認できる範囲で越冬している数は、合計で 100 羽程度ではないかと推測される。

【保全上の留意点】

外海での減少について要因は不明であるが、内湾での減少には餌となる生物の減少が最大の要因と考えられ、餌となる貝類や甲殻類が生息できる、環境の改善が求められる。

【特記事項】

愛知県が報告している「伊勢・三河湾貧酸素情報」では、渥美半島の北側に位置する三河湾は慢性的な貧酸素状態が発生しており、海流の状態などによっては溶存酸素飽和度が、貝類・底生魚類が生存困難な 30%や、全ての底生生物が生存困難な 10%という状態も発生している。

【関連文献】

黒田長久, 1984. 黒田長久編, 決定版 生物大図鑑 鳥類, p.77. 世界文化社, 東京.

（高橋伸夫）